

各部（公室・局）長
教 育 長
警 察 本 部 長
各種委員（会）事務局長
議 会 事 務 局 長
企 業 局 長
病 院 局 長

} 様

総 務 部 長

令和2年度予算の編成について

本県に甚大な被害をもたらした平成28年熊本地震（以下「熊本地震」という。）から3年5カ月が経過しました。この間、「熊本復旧・復興4カ年戦略」に基づき全庁を挙げて取り組んできたことにより、復旧・復興は着実に進んでいます。しかしながら、いまだ8千人を超える方が仮設住宅に入居しているなど、引き続き復旧・復興に向けて、残された課題に対応していかなければなりません。また、復旧・復興に向けた取組みのほか、国土強靱化への対応、さらには、本県の将来の発展へとつなげていくための施策にも重点的に取り組んでいく必要があります。

一方で、「令和2年度当初予算の大まかな収支見通し」では、10億円の財源不足額が見込まれています。また、平成30年8月に公表した「中期的な財政収支の試算」（平成30年8月見直し）においては、令和3年度以降令和5年度までの間に各年度83億円から95億円の財源不足が生じることが見込まれています。今後、熊本地震関連事業の県債償還が本格化していく中で、中長期的に安定した行政運営を行っていくため、引き続き財政健全化に取り組む、これまで以上に将来負担を意識した財政運営を行っていく必要があります。

令和2年度予算は、こうした考えの下に編成しますので、各部局におかれては、別添「予算編成要領」及び「予算要求基準」により、11月6日（水）までに予算要求書を提出されるようお願いいたします。